

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	イマジネーションの発動性と整序性を知るための研究授業 : 三つのことば合わせ
Author(s)	小林, 敦子
Citation	児童の言語生態研究 , 15 : 79 - 85
Issue Date	1997-01-31
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045179">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045179</a>
Right	
Relation	



# イマジネーションの発動性と 整序性を知るための研究授業

——三つのことば合わせ——

小林敦子

一、日時 平成六年八月十日(水)

午前十時十分～十時五十五分

二、学年・組

新潟県津南町立大赤沢小学校

田村芳彦・小林敦子学級

第四・五・六学年 男二名 女二名

(四年一名・五年一名・六年二名)

三、授業形態

児童の言語生態研究会会員によるティームティー

チンゲ

四、授業テーマ

イマジネーションの発動性と整序性を知るための

研究授業 (三つのことば合わせ)

(領域) 構え

五、テーマ設定の理由

本研究会では、人間の意識世界を取り上げ、その意識構造を見出そうと試みてきた。その過程で、直接経験に基づく現実世界よりも、経験に先立つ潜在

意識によって我々は動かされていることを確信してきた。

ただし、その潜在意識がどう働くかについては、未だその詳細を明らかにした解説書はおろか、その手引きする仮説すらも求め得ない。ただ、それでも、我々は、経験よりも前に先験的に我々の意識を取りまとめ、思考を導いて全体的まとまりを得させる働きがあることを知っている。それを俗に、イメージが働くとか直観力とか言っている。

研究会では、長年にわたって、このイメージの運動作用について考え、既に「四つの仮説及び一つの補説」として発表もしてきた。

今回は、イマジネーションの胎動、あるいは動向に手がかりを得たいと思い、なるべく無作為に近い状態での「ことば合わせ」を試みる。日本人の文化史の中で言えば、いわゆる「三題晰し」の型式である。なぜ、それを選んだかについては、その三つの言葉を合わせることによって、意識の一まとまりと

なる世界安定とすることにある。また、被験者によって、その組み合わせは自由にして異なっている。自由にして異なっているにもかかわらず、それぞれにおいてできあがり(完結)とすることにある。つまり、イメージは個々において極めて偏向性を発揮して完結するものだと考えている。

今回の研究授業では、そこに着目して、その発動性と整序性を伺い、今後の考察の資料とするものである。被験者によっては、その思いつきの遅速、能率的処置未処置、あるいは混乱停滞を示すが、その差異が起るこの理由も今後の問題としてデータ1を得たい。特に、今回の如き深い山村の子どもたちを対象とするだけに、巧拙以前の自然的発想によるイマジネーションの仕組みの原態を示してくれるものと期待しているのである。

六、本時の目標とねらい

三つのことば合わせをすることによって、頭の中

5分 \* 15分 \* 15分 \* 5分 \* 3分 \* 5分

5.	4.	3.	2.	1.	展開	教師の発問 及び指導事項
直したい組について、もう一度並べかえよう。	一番気に入っている組について話をしてください。	最初にできた組について話をしてください。	台紙の上に、右から縦にカードを三枚ずつ並べてください。	三十枚のカードを三枚ずつくっつけよう。	導入 本時授業のための話(上原)	指導上の留意点
<イメージ世界 "試行錯誤"編>					・ビデオ撮影開始 ・ねらいの確認 ・カードと台紙を用意する。 ・カードは、四人共同し配列にする。	

2分	5分	5分	5分	5分	5分	5分
6. 理由をきく。						まとめ
学習活動を通しての印象を尋ねてやることによって、本時目標に近づけて記憶が残るような終わりのことばとする。						

八、評価

研究授業後の合評会によって、効果測定を考える。

(註)

<イメージ世界"思いつき"編>と<イメージ世界"試行錯誤"編>としたのは、前者は、イメージを促進させる動向に着眼し、後者は、自分のイメージ活動に反省を加えた時に起こる変化に注目する目安として区別するためである。

教材カード

雪	人形	にじ	はか	風
かがみ	つぼ	ゆうれい	新幹線 <small>しんかんせん</small>	トンネル
めいろ	橋	馬	滝 <small>たき</small>	波 <small>なみ</small>
雨	ファミコン	かみなり	夕日	さんしょう魚
やみ夜	はらわた	魔もの <small>まもの</small>	かけ	三日月 <small>みかづき</small>

(カードは、同種のものを並べないことを原則として、このようにした。)

穴ぐら	交通事故 <small>こうつうじこ</small>	光	杉 <small>すぎ</small>	かみの毛
-----	----------------------------	---	---------------------	------

授業記録

T1 私の名前は上原輝男といます。みんなのことは、小林先生からよく聞いています。全国でもめずらしい、すばらしい自然で、先生はじめ他の先生もびっくりしています。こんなすばらしい所でもんな子が育つのだろうと、楽しみにして来たら、やっぱり、とってもすばらしい子でした。そのすばらしさを發揮して、楽しく勉強しましょう。楽しく遊べばいいんだよ。

T2 今日の説明をします。向こうの部屋には二枚、床の上に紙が置いてあります。白い紙の上には、いろんな言葉が並んでいます。この言葉をよく見て「ことば合わせ」をします。じしゃくでくつつけるみたいに、これとこれとこれとくつつけてみてください。君たちの心の中でピタッとくつつくから、こうやって縦に並べてください。

(黒板上でじしゃくをくつつけて演示。)  
時間は五分です。でも、全部くつつかなくてもいいです。  
三つ、こうやってみると、心の中でお話が浮かびます。  
あとで、それを先生に教えてください。  
(隣の教室へ移動する。)

T2 それでは、用意スタートで始めてください。用意スタート。

T2 一分。  
T2 難しい？  
T1 パッパツとやらないとだめだよ。  
T1 文章を考えるの？  
T1 あとでいいよ。あとでいいから。文章考えるのはあとでいいから。  
T1 ちよつと慎重すぎるなあ。もつと手離しの方がいいよ。  
T2 絶対に三つなんですか？  
T1 正解なんてないんだよ。自分が思うのが正解なんだから。ちよつとこだわってんじやないのか。もつと大胆にやれ。  
T2 七分。  
T2 八分。  
T1 作れない。  
T2 はい、終わりです。  
T2 じゃあ、先生に教えてください。円さん疲れた？  
T1 考えちゃった？  
T1 考えちゃった。  
T2 源くん、どうだった？  
T2 あんまりわからなかった。  
T2 考えすぎた。  
T2 文子さんはあとからいっぱいできたね。だんだんわかってきた？  
T2 難しかった。  
T2 みんながんばったねえ。それでは、並べたものをよく見てください。一番最初に何がきましたか？  
T2 トンネル、新幹線、交通事故。  
T2 あなたの頭の中に浮かんだお話を教えてください。  
T2 トンネルで、なんか暗くて電気がこわれて交通事故があった。  
T2 新幹線は？  
T2 新幹線は何かわかんないけど。  
T2 トンネルの中で、車と車がぶつかって、電気が

こわれて…  
T2 新幹線も事故があるから。  
T2 竜太くんは、一番最初、何ですか？  
T2 雨がりに光が当たって、にじが出た。  
T2 源くんは何ですか？  
T2 やみ夜にはおはかのそばでゆうれいが出る。  
T2 円さんは？  
T2 穴ぐら、魔もの、光。  
T2 まっ暗なんだけど、そこから魔ものの目とか光るでしょ。  
T2 みんな、よくそうやってパツとお話ができるんだ。まだそれについてお話ししたいことありますか？  
T2 つづきある？ もうない？  
T2 じゃあ、次いきましよう。  
T2 そしたらね、みんなが作ってくれた中で一番自分が気に入ったやつ、これは自分が気に入ってるんだというものを選んでみてください。  
T2 探した人、手あげて。  
T2 C3 すぐこわい、おくないがけのところに滝があつて、そこに長い橋、つり橋みたいなのがかかっている。  
T2 C4 やみ夜、はか、ゆうれい。  
T2 どうして好き？  
T2 C4 こわい話だから好きなの。  
T2 円さんは？  
T2 C1 わたし、こわい話くらいだから。  
T2 新幹線でトンネルがあつて、そこをぬけると、きれいな夕日が出る。  
T2 C2 新幹線、雪、交通事故。  
T2 C2 どんなお話ですか？  
T2 C2 そんな意味ないんだけど、新幹線が走って、車輪がすべって、雪ですべって交通事故になる。  
T2 それじゃあね、さつき、円さん、これだめだ、

二つしかないって言ったよね。この中で、みんながもう一回やり直したいとか、こつちとこつち変えたいなあとかありますか？  
T1 あね、一番最初のカードの話してもらったでしょ。その次は自分の一番好きなのを話してくれたでしょ。その次でしょ、今度は。  
T2 今度はね、このところを、カードを変えるのもつと美しいお話になるのについていうものを見つけて入れてかえてほしいの。まず、カードを入れかえてごらん。さらに美しくなりましたか？  
T2 どこ直しましたか？ ここ直したよっていうところ発表してください。  
T2 C2 夕がた、滝、風だったんだけど、今度は夕がた、穴ぐら、風。  
T2 それはどうですか？  
T2 滝のうらの方に穴があつて、風がふいてるんですよ。  
T2 C3 竜太くんの見て、本当は変えようと思ってただけど、新幹線、雪、交通事故。  
T2 前から変えたかったのね。どうして？  
T2 竜太くんと同じだった。  
T2 C3 雪で車輪がすべって交通事故になるのね。  
T2 C1 わたしは、滝があつて、がけがこわそうなんだけど、滝が落ちると、霧がかかるじやないですか。霧っぽくなつていて、そこににじがかかっている。  
T2 源くんは変えた？  
T2 C4 変えてない。  
T2 よし、じゃあね、みんなにサービスだよ。カード残ってるのがあるでしょ。さつきなかなかくつかなかつたやつ。もう一度だけ挑戦してごらん残ったカードくつつか、くつつかないか。くずさないで追加してください。  
T2 どうしてもくつつかなかつたら、そのままにしておいてください。

はい、ありがとうございます。

今できたのをお話してください。

はい、円さん。

C1 あの、よくほら、宝物の地図とか見つけるようなところで、杉がある場所、三日月がうつる湖の下につぼがあるとか……で。

T1 もう一つ作って。

C1 かがみの中を見ると、前死んでしまった馬が波

のところで楽しそうに走っている。

T1 それはすばらしい話だ。それは楽しいよ。

T2 まだ新しいのはいですか？

C2 竜太くん、あった？

T2 夕がた、トンネルの中で馬が走っている。

T3 夕日？ 夕がたなのね。

T2 景色は夕がたなのね。

T2 まだ他にない？ 文ちゃんは何？

T1 じゃあね、おじさんひとつ聞きたいの。円ちゃん、

その杉と三日月とつぼの話、もう一度してみて。

C1 えーとね、だから、うーんと、その、杉がまわりにある湖とかで、三日月があたる、三日月の形がうつるところがあるとして、その下につぼがあ

って、その下に宝物がある。

T1 それは湖の中につぼがあるの？ 杉の木の下につ

ぼがあるの？

C1 そのですね、湖があつて、そのまわりには杉があるんです。で、それで、三日月がうつる、あの場所

は湖で、その下に宝物のつぼがある。

T1 そうすると、そのつ

ぼは湖の中にあるのね。底のほうに。

C1 はい。

T1 ああそう。はい、わかった。そこを聞きかけた。おもしろいね。そりやおもしろいよ。

もう一度、じゃあ、かがみと馬と波の話をしてください。

C1 もう一回ですか。

あのね、かわいがっていた馬が、犬じゃなくてね、馬が死んじゃったんですよ。かわいがっていた馬

がいなくなつてさびしいなと思つていたんだけど、馬はど

うしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

がみの中かと思つたら、思つて、もしかしてかがみの中かと思つたら、思つて、もしかしてか

はらわたつていうのは、ちょっと難しいでしょうか。

C1 あのね、なんかね、おぼけが人のほらわたを

取つて、集めて、それをつぼに入れて集めて、それを自分

はいいものだと思つてただけ、人はいやなんだけど、

自分は、人もいいものだと思つて取っちゃうと思つて、

杉の下にうめたの。

T1 そう、できたね。

C1 じゃあ、円ちゃんの三つ残してんだからその調子

でやって。

C1 どうしてもできないんです。これは。

T1 これはできないの。

C1 でも、なんか。

T1 さんしよう魚とはらわたと雪でしょ。

C1 どうしてもできなかったら、まわりにいる先生に

やつてもらおう。

C1 できるかもしれない。

T1 ほらほら、できるかもしれないでしょ。

C1 雪の日に、かせひいて、それにはさんしよう魚

のはらわたがよくて、はらわたをせんじて飲めば

いい。

T1 いやあ、それはいい。上手にできました。

(拍手)

T2 円さん、ついに終わってしまいましたね。がんば

ったね。

C1 今日は、今までやったことのない勉強だったね。

T1 ほんま感じだった？

C1 おもしろかった。

T1 じゃあね、まだ時間五分くらいあるから、いい

ですか。せっかくだから、みんな立って席替えし

よう。

C1 円ちゃん、どこか行きたいところ行きなさい。ど

の人のところ？

T1 じゃあ、源ちゃん、どこ行く？

C4 竜太くん。

T1 竜太くんも行きたいところ行きなさい。

C2 文子のところ。

T1 文ちゃんは……

はい、そしてね、今度は自分が組んだものじゃないでしょ。他の人がやったんでしょ。今度のは、みんなちがう人がやったんだから、わたしだったからこんなことできないのに、この人はこんなふう

に三つくつつけていてというのがわかる。

C2 夕日と雨とにじ。で、夕方、雨あがりに、えーと、にじが出ている。

T1 竜太くん、さっきのとにてるね、それ。さっきも雨あがりって言ったもんね。

C1 私もさつきとにてるんだけど。

源くんは、馬とかがみと人形。

寝てて、その前にはけっこう大きなかみがあって、パッと起きてみると、えーと、馬の人形がその中で動いているんですよ。で、あっと思っ

て、後ろに馬の人形があるんだけど、それがこうやって寝てて、うつるでしょ。で、後ろ見ると、動いて

なかったりとかする。

T1 これも拍手だな。

(拍手)

C3 わたしは、雨とかみなりと風。

最初少しづつ雨がふってきて、ぼつんぼつんだつたから、そのうちやむだろうと思ったら、次にかみなりが鳴って、雨がふってきて、風がふいてきて、家が飛ばされちゃった。

(拍手)

C4 雨と光とにじ。

T1 雨あがりににじが出て、光が当たっている。

T1 じゃあ、もつとやる。

じゃあね、こういうのやるうか。

T1 今は三枚だったでしょ。じゃあ、三枚と三枚、二

組いっしょにやるってのどうでしょう。

T3 できる？

T1 人のところでやるの？

T1 いや、そこでもいいよ、そこで。

T1 やっぱり自分のところにもどううか。

T3 自分のところにもどううか。

T1 今度は、一組だけをつかまえるんじゃないのね。

C1 もう一組つかまえて、いっしょにしてお話を作る。

T1 それじゃあ、その二組のを並べ変えてもいいんですか？

T1 ああ、並べ変えてもいい。

T1 じゃあ、それを横へ出そうか。

C1 じゃあ、円ちゃん、みんなのお手本示してごらん。

T1 いきなりと言われても……

T3 うーんとどうしようかな。

T1 新しくやり直していいよ。

T1 だめか。

C1 だって、いきなり言うんだもん。

T1 文子ちゃんみたいにやるのがいいね。

T1 並んでるやつを下にくつつけて……

C3 じゃあ、文子ちゃんお話できる？

T1 うん。

C3 やってごらん。

T1 うんとね、夜おはかに行ってみたら、そしたら、なんかゆうれいみたいなものが出てきたから、隠れて、魔ものも出てきて、とつぜん杉がザザッとゆれて、そしたらいっばい人形が出てきて、かみの毛がこつちへ向かってきた。

(拍手)

T1 文子ちゃん、すごいね。

C1 えーと、さっき話した滝に、滝のうらに穴があつて、風がふいてきて、それで穴からぬけたら、

目の前というか、右側に杉があつて、その下に人形があつた。

C1 (拍手)

T1 わたしは……

C1 きれいなやつてね。

T1 きれいですよ。

C1 えーと、まあ男の子だとして、ファミコンをやつてて、こうこの中に入つて、魔王を倒したなあと

思っていて、で、その次の朝に、なんかファミコンしすぎて遊んでないから、外行つて遊ぼうと思つ

てたら、杉のところに、一つのきたない……あつ、

夜で、三日月に何か光つて、何かなと思つたら、

つぼで、何が入っているのかなと思つてのぞいて

みたら、ファミコンの世界に、自分が入りたいと思つ

っていたファミコンの世界に入つて、それで、

迷路を渡つたら、橋を渡つたとして、魔王を倒し

たりして冒険してた。

(拍手)

C3 がけとはしと滝と、つぼとはらわたと馬。うんと、

がけのところは橋があつて、すごい大きい橋

で、渡つて行つたら、ぐらぐらゆれて、先つぼの方

のロープみたいなのが切れて、そのまま滝の方

におちちゃつて、滝の下の方に、何かつぼみたい

なのがあつて、なんかそんな中に、ぶよぶよした何

かへんのがあつて、それは馬のはらわただった。

(拍手)

C4T1 源くんはどうした？

C4T1 まだできてない。

C4 雨のやみ夜で、杉が風でゆれてて、そして、お

はかからゆうれいが出た。

T1 りっばりっば。

(拍手)

T2 おつ、竜太くん、また一個できた？

C2 はい。

夕方、トンネルの中に馬がいて、トンネルから出たら、雨がふってきて、ちよつとふってきて、止んで光が当たって、にじが出た。

きれいだね。

U3T2

私は…かがみと迷路と穴ぐらとさんしょう魚、トンネルとファミコンだけ。うんとね、まずかがみの迷路のところを通って、そしたらとつぜん目の前がまっ暗になって、穴みたいなどころに入ってしまったって、そして見たら、なんかすごい大きい川みたいなのがあって、そこに行ったら、なんかキラッと光ったものがあるってそのさんしょう魚をつかまえようとして川の中にもぐったら、そしたら、なんか下の方にトンネルみたいなのがあって、そこを通ったら、トンネルを通ったら、なんかでっかいファミコンがあって、その世界に入っていた。

T1 上手になったね。

(拍手)

C1 じゃあ、まず、

雨がふる時に、交通事故があつて、その人はいけないんだけどよっぱらい運転してて、それで自分でぶつかった人は、あの、ここにひとつ車があつたとして、その人はよっぱらつて、何にも見えなくて、やったらぶつかつちやつたのね。で、ぶつかった人は生きてたんだけど、その人は死んで、にげてね、そしたら、それで一年くらいたつてから、その事件と、同じ日だったのね、帰ってきたら、まっ暗だったんだけど、何かふんだら、かみの毛が落ちていて、何だろうと思って、かいつと何か光ったら人形だったの。…で、その人形は、見えたらすぐ消えちやつたんだけど、よく調べてみたらその人形は、前事故にあつた車の女の子が持っていた。

T1 すごいね。

(拍手)

C2 やみの夜、かみなりが鳴って、雪がふってきて、まものとゆうれいがはかから出てきた。

T2 もういいかな。いっぱいできたね。

T1 これ以上ね、みんながまた作って、おじさんたちね、持つてかえつて整理しなくちゃいけないから、これ以上いいの出たら困っちゃうから、これくらいにしてください。

T2 じゃあ終わりにしましょう。

T1 ほんとによくできました。みんな先生方びっくりしました。ほんとにありがとう。うれしかった。ごころうさまでした。

T2 (拍手)

T1 じゃあ、おじさんから一言。

C1 あの予想してたように、みんなすばらしい子どもたちだった。

T1 おじさんはそう思いましたよ。

T2 やっぱ、君たちの心はね、ひじょうにすんでいて、きれいだなって思います。その心をね、持ち続けなくちゃだめなんだよ。

T1 ね、大きくなつても。

T2 したらね、すばらしい人になるに決まつてる。

T1 おねがいます。

T2 じゃあ、ありがとう。

C1 じゃあ、終わりにしよう。円さん。

T1 (拍手)

T2 上原輝男(兄言葉主宰)

T1 小林敦子(新潟・大赤沢小教諭)

T2 中川節子(東京・町田第四小教諭)

T3

C1さん(六年生)

〈一分〉	〈二分〉
墓・風・ゆうれい	穴ぐら・魔もの・光
〈三分(二分に加えて)〉	杉・三日月
〈四分〉	(そのまま)
〈五分(加えて)〉	〈六分(加えて)〉
やみ夜・かみなり・がけ	滝・つば・鏡
ファミコン・迷路・橋	
〈七分(加えて)〉	〈八分〉
かみの毛・交通事故・雨	(そのまま)
新幹線・トンネル・夕日	
〈試行錯誤編くカードの入れかえ〉	
やみ夜・かみなり・がけ↓やみ夜・かみなり・人形	
滝・つば・鏡↓滝・がけ・にじ	
〈サービス〜残ったカードで作るか〉	
杉・三日月・つば 鏡・馬・波	
雪・さんしょう魚・はらわた	
〈六枚一組〉	
杉・三日月・つば・ファミコン・迷路・橋	
雨・交通事故・やみ夜・かみの毛・かみなり・人形	

C2 くん (六年生)

〈一分〉	〈二分〉
〈三分(加えて)〉 杉・がけ	〈四分(やり直して)〉 雨・光・にじ 杉・がけ・人形
〈五分(加えて)〉 夕日・滝・風	〈六分(加えて)〉 やみ夜・墓・ゆうれい
〈七分〉 (そのまま)	〈八分(加えて)〉 新幹線・雪・交通事故 やみ夜・トンネル・馬
〈試行錯誤編〉 夕日・滝・風 ↓ 穴ぐら ↓ 滝・風	
〈サービス〉 夕日・トンネル・馬	
〈六枚一組〉 穴ぐら・滝・風・杉・がけ・人形 夕日・トンネル・馬・雨・光・にじ やみ夜・かみなり・雪・魔もの・ゆうれい・はか	

C3 さん (五年生)

〈一分〉 やみ夜	〈二分〉 やみ夜・三日月 トンネル・新幹線
〈三分(やり直して)〉 かみなり・雨 墓・ゆうれい	〈四分(やり直して)〉 トンネル・新幹線・交通事故 やみ夜・かみなり・三日月
〈五分(加えて)〉 がけ・橋・滝	〈六分(加えて)〉 夕日・雨・にじ 墓・ゆうれい・魔もの 光・波・風
〈七分(加えて)〉 鏡・迷路・穴ぐら	〈八分(加えて)〉 (そのまま)
〈試行錯誤編〉 トンネル・新幹線・交通事故 ↓ 雪 ↓ 新幹線 ・交通事故	
〈サービス〉 人形・かみの毛	
〈六枚一組〉 墓・ゆうれい・魔もの・杉・人形・かみの毛 がけ・橋・滝・つぼ・はらわた・馬 鏡・迷路・穴ぐら・さんしょう魚・トンネル・ ファミコン	

C4 くん (四年生)

〈一分〉 やみ夜・墓・ゆうれい	〈二分〉 (そのまま)
〈三分〉 (そのまま)	〈四分(加えて)〉 新幹線・交通事故
〈五分(加えて)〉 (新幹線)・(交通事故) ・トンネル	〈六分(加えて)〉 風・かみなり・杉
〈七分〉 (そのまま)	〈八分(加えて)〉 鏡・馬・人形
〈試行錯誤編〉 (かえない)	
〈サービス〉 (そのまま)	
〈六枚一組〉 雨・やみ夜・風・杉・墓・ゆうれい	

(新潟県津南町立大赤沢小学校教諭)